



西おきたま 雪若丸だより

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動 置賜地域本部 西置賜農業技術普及課

ほ場を確認！有効茎数を確保⇒遅れずに作溝・中干し！
茎数が不足⇒浅水管理や水交換を！

1 「雪若丸」の生育状況（6月20日現在）

この10日間の好天で、生育は回復し概ね有効茎数が確保されています。遅れずに作溝・中干しを行いましょ。一方、茎数不足の圃場では6月中の有効茎確保に向け、昼間止水・夜間かんがいを徹底し、浅水管理で分けつを促進しましょ。また、高温でワキの発生がみられる場合には水交換や田干しを行いましょ。

「雪若丸」調査ほ場の生育状況

	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	備考
飯豊町	32.7	518	8.4	42.0	5/18 移植
長井市	27.6	380	8.0	43.5	5/24 移植
白鷹町	27.8	317	8.0	43.1	5/24 移植
小国町	35.0	650	9.2	46.6	5/15 移植
指 標	32.0	460	8.1	43.0	

2 今後の技術対策

(1) 順調に生育量を確保している場合

- 有効茎数（560本/m²）を確保したほ場から速やかに作溝・中干しを行い、無効分けつの発生を抑制します。
- 「雪若丸」は幼穂形成期まで葉色を40未満に低下させないように管理することが大切です。水管理や中干しで適正な茎数、葉色となるように生育管理を行いましょ。

茎数と葉色の目安（指標値）

	6月10日	6月20日	6月30日
m ² 当たり茎数（本/m ² ）	240	460	590
1株当たり茎数（本/株、70株/坪）	12	22	30
葉色（SPAD）	37	43	43

(2) 生育（茎数）不足の場合

- 水深2～3cmの浅水管理、昼間止水・夜間かんがいで分けつを促進します。
- 土壌の異常還元（ワキ）がみられる場合は、速やかに水交換や夜間落水を行い、根圏環境の改善を図ります。
- 上記の対策を行ってもなお、6月20日頃までの生育量が不足する場合（茎数300本/m²以下、葉色40以下）は、減収となる可能性が高くなるため、窒素成分量1kg/10a程度を補完施用し生育量を確保します。
※補完施用した場合は、穂肥時の追肥量を減肥します。

農作業事故と熱中症に要注意！ こまめな休憩と水分・塩分補給。